小 樽 の 女 性 と 男 性

―平成 27 年度版―

小樽市 生活環境部 男女共同参画課

目　次

Ⅰ. 人口の動向
1.　総人口と人口性比の推移 ・・・・・・・・・・・・・1
2.　全道 35 市における人口性比の順位 ・・・・・・・・・・・・・2
3.　男女別年齢人口の比較 ・・・・・・・・・・・・・3
4.　一般世帯構成の推移 ・・・・・・・・・・・・・4
5.　一般世帯数と 1 世帯当たり人員の推移 ・・・・・・・・・・・・・5
6.　65 歳以上人口に占める高齢単身者割合の推移 ・・・・・・・・・・・・・6
7.　全道 35 市における 65 歳以上人口に占める高齢単身者割合の順位 ・・・・・・・・・・・・・7
8.　15 歳以上の男女別配偶関係割合の推移 ・・・・・・・・・・・・・8
9.　年齢階級別未婚率の推移 ・・・・・・・・・・・・・9
10.　年齢階級別未婚率の比較 ・・・・・・・・・・・・10
11.　全道 35 市における未婚者割合の順位 ・・・・・・・・・・・・11
12.　合計特殊出生率の推移 ・・・・・・・・・・・・12

Ⅱ. 教育
1.　高校卒業後の進路状況の推移 ・・・・・・・・・・・・13

Ⅲ. 社会参画
1.　政治や行政分野への参画状況
（1）　小樽市議会女性議員の割合の推移 ・・・・・・・・・・・・14
（2）　道内市議会女性議員の比率状況 ・・・・・・・・・・・・15
（3）　審議会等への女性登用率の推移 ・・・・・・・・・・・・16
（4）　小樽市職員の女性の就業状況 ・・・・・・・・・・・・17
（5）　公立小・中・高校教員の女性の就業状況 ・・・・・・・・・・・・18
2.　地域・社会活動における参画状況
（1）　町内会・PTAにおける男女の割合 ・・・・・・・・・・・・19

Ⅳ. 健康・安全・福祉
1.　死亡原因 ・・・・・・・・・・・・20
2.　女性相談の内容別内訳の推移 ・・・・・・・・・・・・21

Ⅴ. 就業状況
1.　労働力状態の推移 ・・・・・・・・・・・・22
2.　男女の年齢階級別労働力率の推移 ・・・・・・・・・・・・23
3.　男女の雇用者の雇用形態別構成 ・・・・・・・・・・・・25
4.　男女別・年齢階級別正規従業員構成 ・・・・・・・・・・・・26

＜本書を利用される方へ＞

本書は、様々な統計資料より男女の状況について、本市のデータを記載したものです。

本書が、男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画に関する理解と認識を深めていただく一助となれば幸いです。

比率は百分率（%）で表し、小数点以下第 2 位又は第 3 位を四捨五入して算出しました。したがって、合計が 100%にならず、1%の範囲内で増減することがあります。

Ⅰ．人口の動向

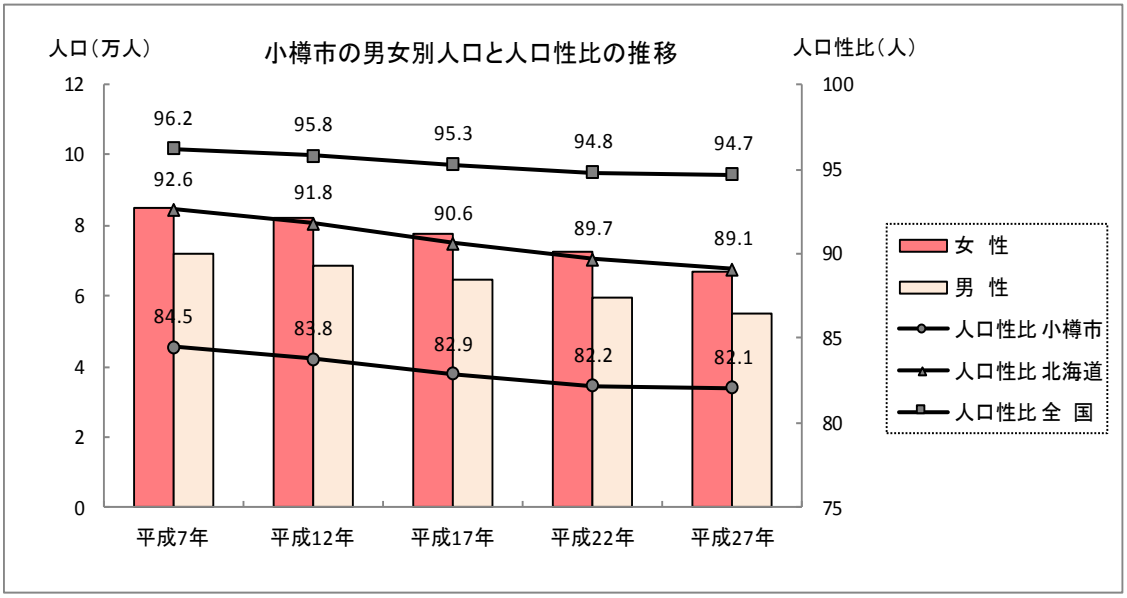
1．総人口と人口性比の推移

		平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
総人口（人）		157,022	150,687	142,161	131,928	121,910
女　性	（人）	85,108	82,000	77,725	72,414	66,949
	（%）	54.2	54.4	54.7	54.9	54.9
男　性	（人）	71,914	68,687	64,436	59,514	54,961
	（%）	45.8	45.6	45.3	45.1	45.1
人口性比（人）	小樽市	84.5	83.8	82.9	82.2	82.1
	北海道	92.6	91.8	90.6	89.7	89.1
	全　国	96.2	95.8	95.3	94.8	94.7

資料：小樽市統計書　平成 27 年版（国勢調査）
平成 27 年国勢調査（総務省統計局　速報値）

注）　人口性比：女性 100 人に対する男性の数

・人口に占める男女の割合は前回調査と同じだが、人口性比は年々減少の傾向にある。



資料：小樽市統計書　平成 27 年版（国勢調査）
平成 27 年国勢調査（総務省統計局　速報値）

2. 全道 35 市における人口性比の順位

【平成 22 年】

順位	市	人口性比（人）
1	網走市	104.8
2	千歳市	104.5
3	恵庭市	95.8
4	苫小牧市	95.5
⋮	⋮	⋮
32	赤平市	83.4
33	三笠市	82.6
34	**小樽市**	**82.2**
35	歌志内市	80.4
全道数値		89.7

資料：「統計で見るわが街おたる」（平成 27 年 3 月）

【平成 27 年】

順位	市	人口性比（人）
1	千歳市	103.1
2	網走市	102.9
3	苫小牧市	95.9
4	稚内市	95.8
⋮	⋮	⋮
32	函館市	82.7
33	赤平市	82.2
34	**小樽市**	**82.1**
35	三笠市	81.4
全道数値		89.1

資料：「統計で見るわが街おたる」（平成 28 年 3 月）
平成 27 年国勢調査（総務省統計局 速報値）

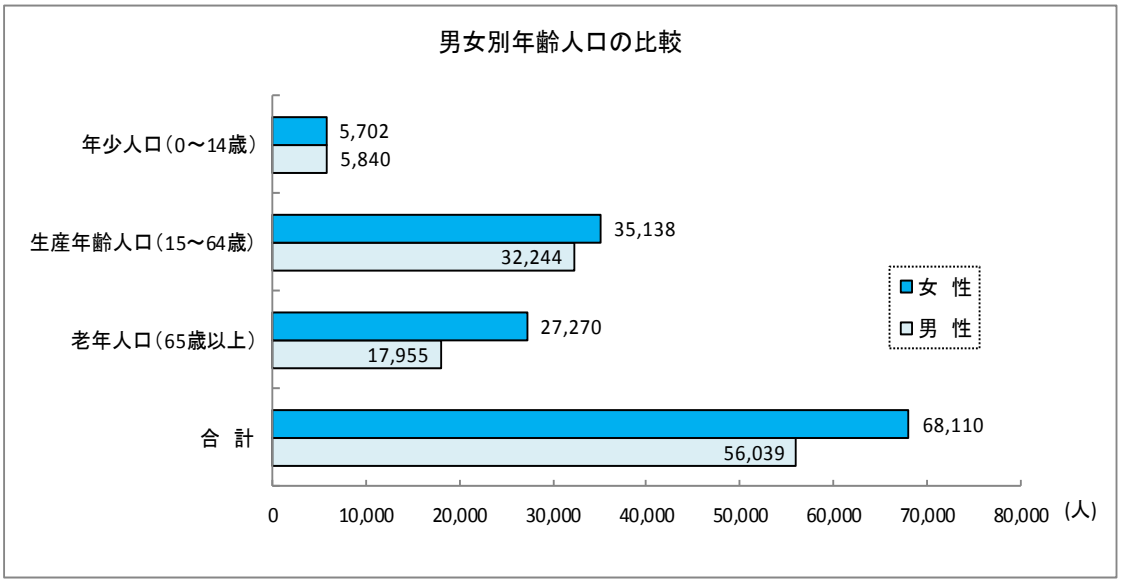
・平成 27 年の人口性比は、平成 22 年よりも 0.1 ポイント減少した。
・小樽市は、道内他市に比べ低い数値となっている。

3. 男女別年齢人口の比較

	合 計		年少人口（0～14 歳）		生産年齢人口（15～64 歳）		老年人口（65 歳以上）	
	（人）	（%）	（人）	（%）	（人）	（%）	（人）	（%）
女 性	68,110	54.9	5,702	4.6	35,138	28.3	27,270	22.0
男 性	56,039	45.1	5,840	4.7	32,244	26.0	17,955	14.5
総人口	124,149	100.0	11,542	9.3	67,382	54.3	45,225	36.4

資料：小樽市住民基本台帳人口年齢構成表（平成 27 年 4 月末）

・年少人口（0～14 歳）では男性が多く、生産年齢人口（15～64 歳）、老年人口（65 歳以上）では女性が多い。
・総人口の 3 人に 1 人は老年人口で、老年人口のうち 5 人に 3 人が女性である。



資料：小樽市住民基本台帳人口年齢構成表（平成 27 年 4 月末）

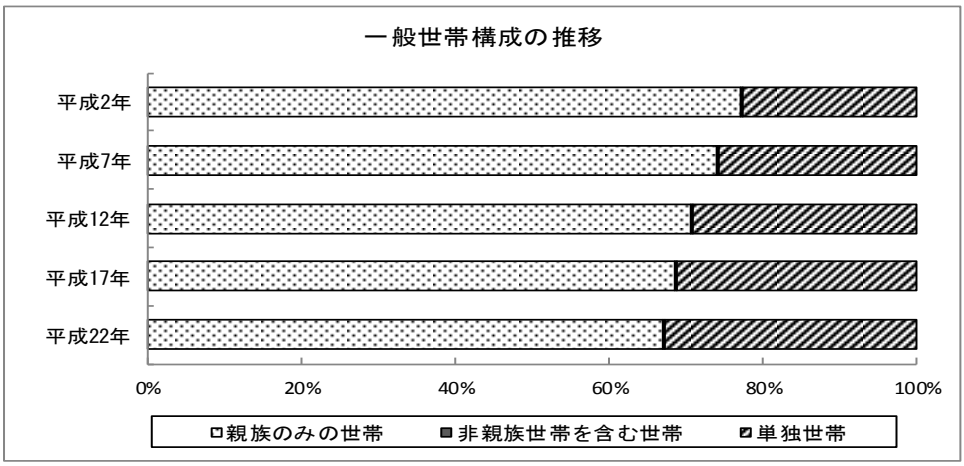
4. 一般世帯構成の推移

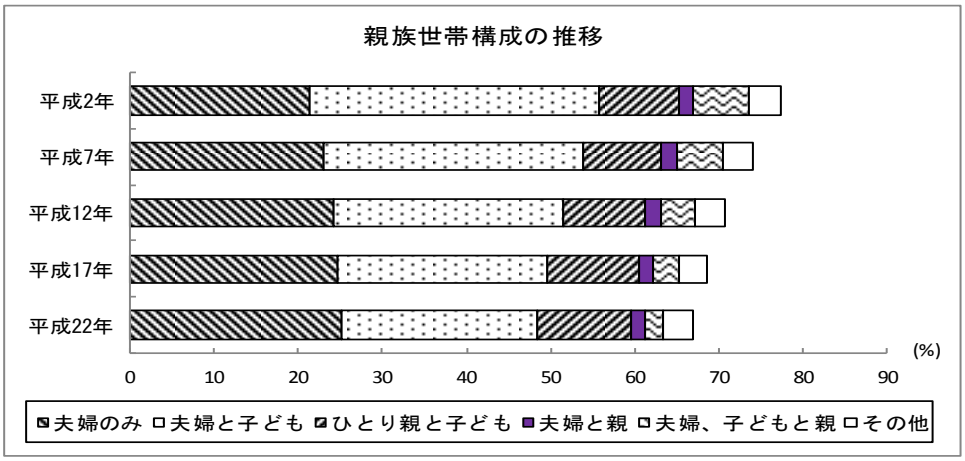
	平成 2 年		平成 7 年		平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年	
	世帯数	比率(%)	世帯数	比率(%)	世帯数	比率(%)	世帯数	比率(%)	世帯数	比率(%)
一般世帯数	58,820	100.0	60,313	100.0	61,371	100.0	60,284	100.0	57,560	100.0
親族のみの世帯	45,420	77.2	44,633	74.0	43,397	70.7	41,313	68.5	38,577	67.0
核家族世帯	38,315	65.1	38,132	63.2	37,667	61.4	36,448	60.5	34,296	59.6
夫婦のみ	12,516	21.3	13,951	23.1	14,815	24.1	14,849	24.6	14,493	25.2
夫婦と子ども	20,235	34.4	18,494	30.7	16,895	27.5	15,117	25.1	13,353	23.2
ひとり親と子ども	5,564	9.5	5,687	9.4	5,957	9.7	6,482	10.8	6,450	11.2
核家族以外の世帯	7,105	12.1	6,501	10.8	5,730	9.3	4,865	8.1	4,281	7.4
夫婦と親	988	1.7	1,119	1.9	1,079	1.8	1,079	1.8	936	1.6
夫婦、子どもと親	3,863	6.6	3,287	5.4	2,497	4.1	1,746	2.9	1,260	2.2
その他	2,254	3.8	2,095	3.5	2,154	3.5	2,040	3.4	2,085	3.6
非親族世帯を含む世帯	37	0.1	142	0.2	180	0.3	222	0.4	104	0.2
単独世帯	13,363	22.7	15,538	25.8	17,794	29.0	18,749	31.1	18,879	32.8

資料:小樽市統計書 平成 27 年版(各年 10 月 1 日現在)

注) 一般世帯とは、「施設等の世帯」以外の世帯をいう。

・一般世帯の構成比率では、「親族のみの世帯」は減少、「単独世帯」は増加の傾向にある。
・親族のみの世帯の構成比率では、「夫婦のみ」、「ひとり親と子ども」の世帯は増加、「夫婦と子ども」、「夫婦、子どもと親」の世帯は減少の傾向にある。





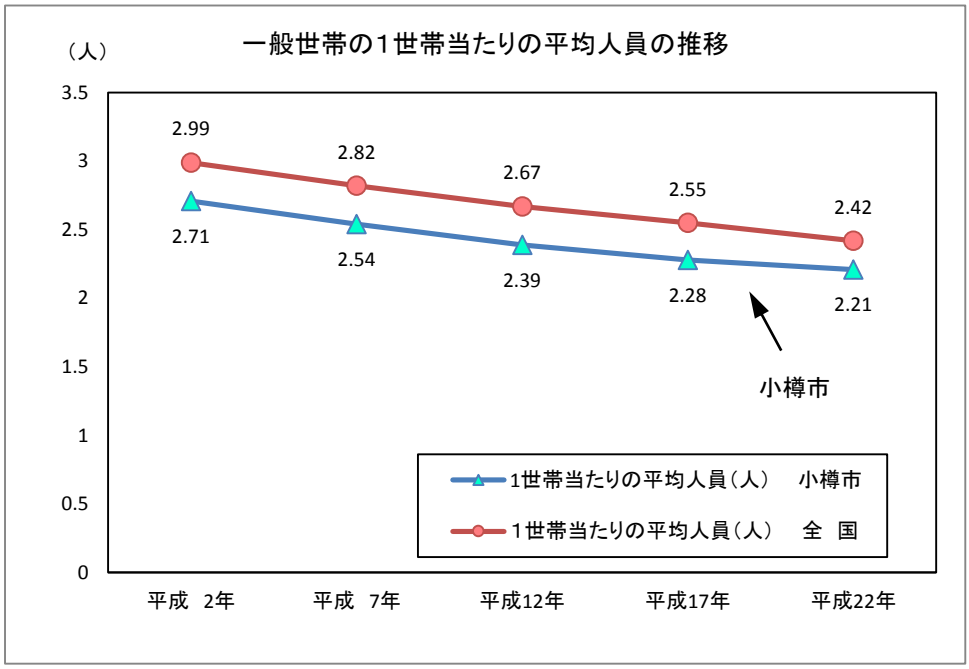
資料:小樽市統計書 平成 27 年版(各年 10 月 1 日現在)

5. 一般世帯数と１世帯当たり人員の推移

	一般世帯数	一般世帯人員（人）	一般世帯の１世帯当たりの平均人員（人）	
			小樽市	全国
平成　2　年	58,820	159,331	2.71	2.99
平成　7　年	60,313	153,404	2.54	2.82
平成　12　年	61,371	146,840	2.39	2.67
平成　17　年	60,284	137,709	2.28	2.55
平成　22　年	57,560	127,125	2.21	2.42

資料：小樽市の人口(平成 22 年国勢調査)、平成 22 国勢調査（総務省統計局）

・1 世帯当たりの平均人員は、小樽市、全国ともに年々減少の傾向にある。
・小樽市の１世帯当たりの平均人員は、全国に比べ少なくなっている。



資料：小樽市の人口(平成 22 年国勢調査)、平成 22 国勢調査（総務省統計局）

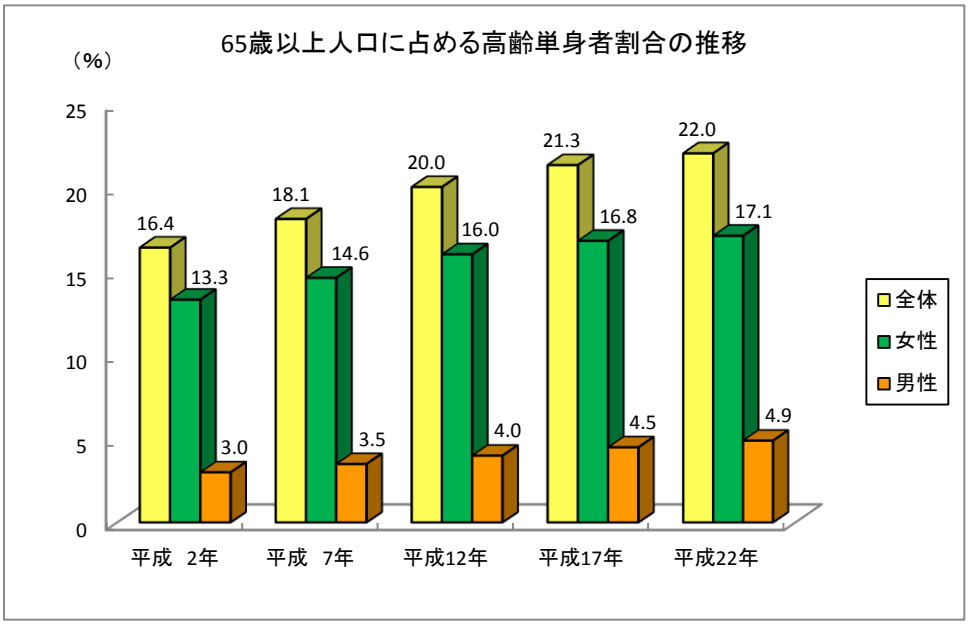
6. 65 歳以上人口に占める高齢単身者割合の推移

			平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
65 歳以上人口（人）			25,804	30,524	35,253	38,984	41,607
単身者	合計	人	4,221	5,533	7,067	8,288	9,174
		%	16.4	18.1	20.0	21.3	22.0
	うち 女性	人	3,443	4,471	5,647	6,541	7,133
		%	13.3	14.6	16.0	16.8	17.1
	うち 男性	人	778	1,062	1,420	1,747	2,041
		%	3.0	3.5	4.0	4.5	4.9

資料：小樽市の人口（平成 22 年国勢調査）、 小樽市の人口（平成 17 年国勢調査）

・65 歳以上人口に占める高齢単身者の割合は、年々増加の傾向にあり、女性の方が男性よりも単身者の割合が高い。

・65 歳以上人口の 5 人に 1 人が単身者で、単身者のうち、5 人に 4 人が女性である。



資料：小樽市の人口（平成 22 年国勢調査）、 小樽市の人口（平成 17 年国勢調査）

7. 全道 35 市における 65 歳以上人口に占める高齢単身者割合の順位

【平成 17 年】

順位	市	%
1	夕張市	24.0
2	歌志内市	23.3
3	三笠市	22.6
4	函館市	21.7
4	室蘭市	21.7
6	**小樽市**	**21.3**
⋮	⋮	⋮
32	北広島市	13.2
33	恵庭市	13.1
34	石狩市	12.9
市部数値		18.4
全道数値		17.6

資料：小樽市の人口（平成 17 年国勢調査）

【平成 22 年】

順位	市	%
1	夕張市	26.1
2	三笠市	24.8
3	歌志内市	23.1
4	函館市	22.8
4	室蘭市	22.8
6	**小樽市**	**22.0**
⋮	⋮	⋮
33	恵庭市	14.4
34	石狩市	13.6
35	北広島市	13.5
市部数値		19.9
全道数値		19.3

資料：平成 22 年国勢調査（総務省統計局）

注） 平成 18 年 2 月 1 日に上磯町と大野町が合併し北斗市が新たに加わり全道 35 市となる。

・平成 17 年、平成 22 年ともに、65 歳以上人口に占める高齢単身者割合の順位は、全道 35 市のうち高い方から 6 番目となっている。

8. 15 歳以上の男女別配偶関係割合の推移

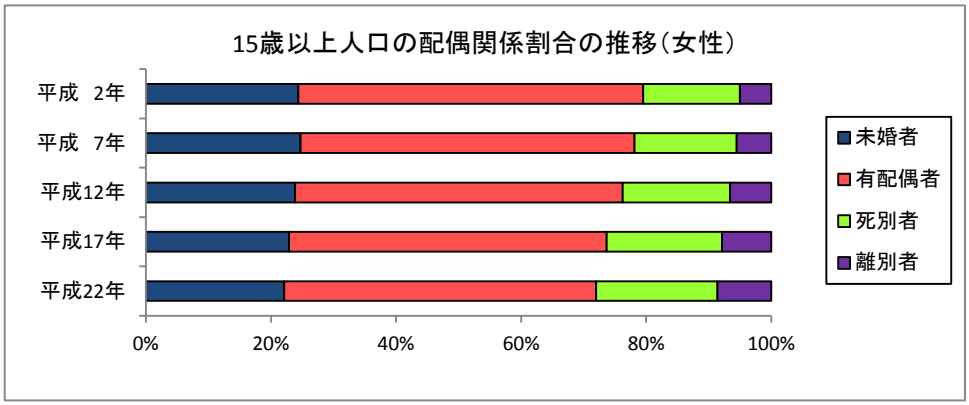
単位：%

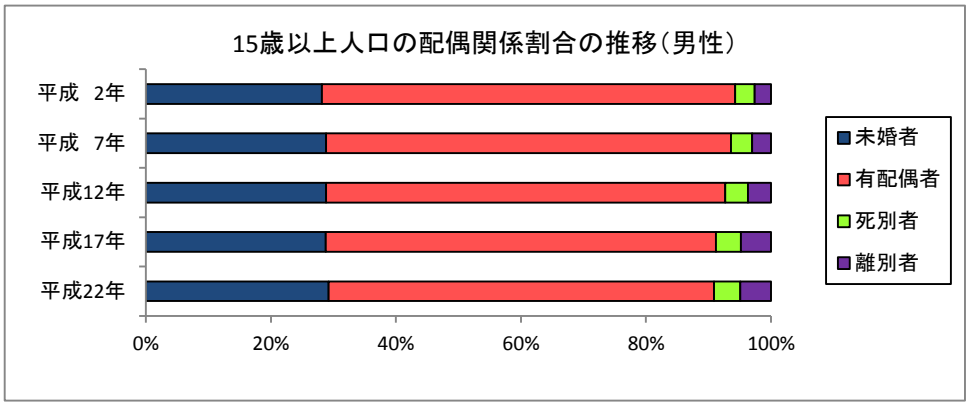
	女性					男性				
	総数（人）	未婚者	有配偶者	死別者	離別者	総数（人）	未婚者	有配偶者	死別者	離別者
平成 2年	75,479	24.3	55.0	15.4	5.0	62,490	28.1	65.9	3.1	2.6
平成 7年	75,181	24.7	53.3	16.3	5.5	61,489	28.8	64.7	3.4	3.0
平成 12 年	73,415	23.8	52.3	17.1	6.6	59,873	28.8	63.7	3.6	3.7
平成 17 年	70,254	22.9	50.8	18.4	7.9	56,818	28.8	62.4	4.0	4.8
平成 22 年	65,920	22.1	49.9	19.4	8.6	52,902	29.2	61.6	4.2	4.9

資料：小樽市の人口(平成 22 年国勢調査)、平成 22 国勢調査（総務省統計局）

注） 総数には「配偶関係」不詳を含む。

・男女ともに死別者、離別者の割合は年々増加、有配偶者の割合は減少の傾向にある。
・死別者、離別者の割合は女性の方が高い。





資料：小樽市の人口(平成 22 年国勢調査)、平成 22 国勢調査（総務省統計局）

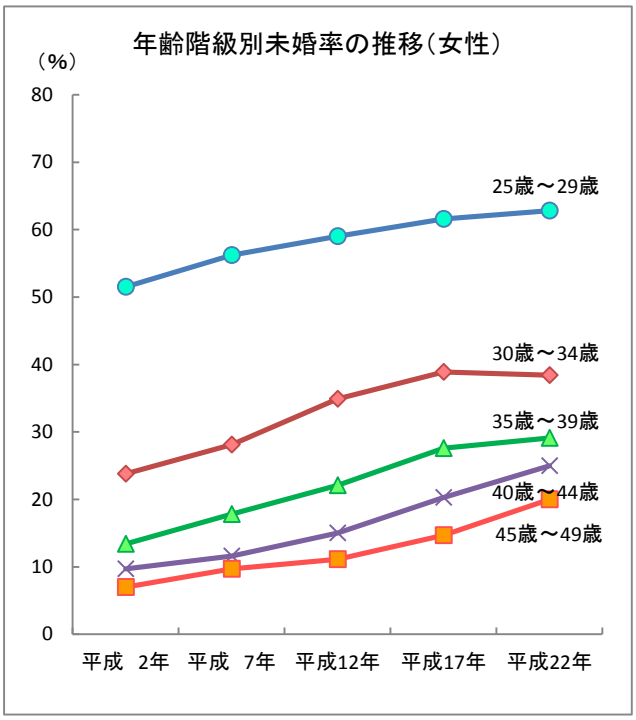
９. 年齢階級別未婚率の推移

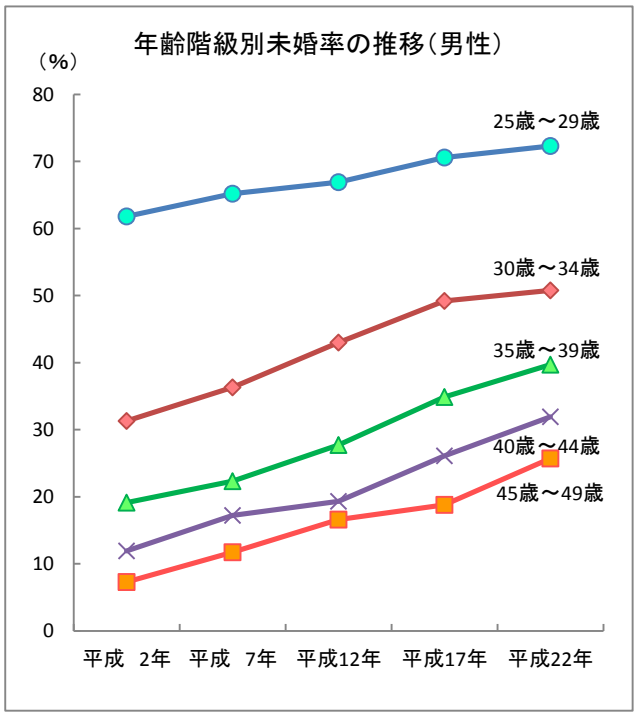
単位：%

		平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
25 歳～29 歳	女性	51.5	56.2	59.0	61.6	62.8
	男性	61.8	65.2	66.9	70.6	72.3
30 歳～34 歳	女性	23.8	28.1	34.9	38.9	38.4
	男性	31.3	36.3	43.0	49.2	50.8
35 歳～39 歳	女性	13.4	17.8	22.1	27.6	29.1
	男性	19.1	22.3	27.7	34.9	39.7
40 歳～44 歳	女性	9.7	11.6	15.0	20.3	25.0
	男性	11.9	17.2	19.3	26.1	31.9
45 歳～49 歳	女性	7.0	9.7	11.1	14.7	20.0
	男性	7.3	11.7	16.6	18.8	25.7

資料：平成 22 年国勢調査 （総務省統計局）

・未婚率は、ほとんどの年齢層で男女とも増加の傾向にある。





資料：平成 22 年国勢調査 （総務省統計局）

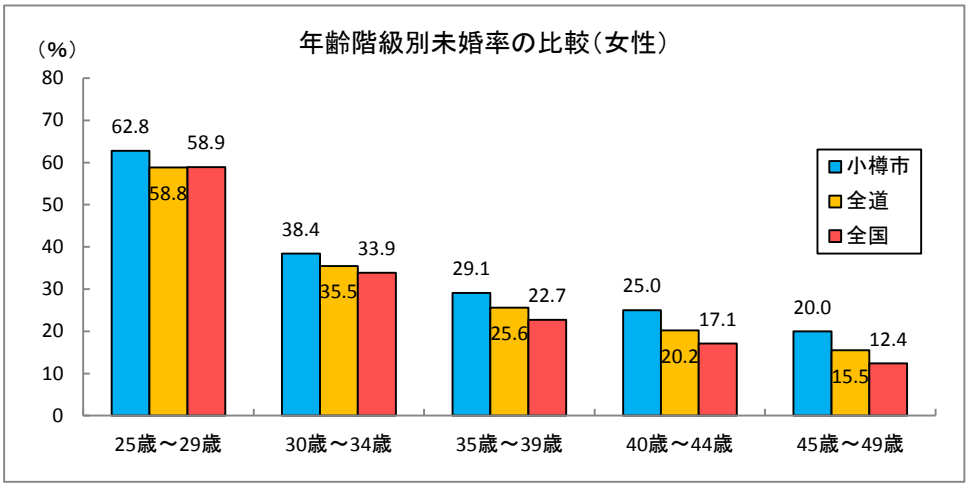
10. 年齢階級別未婚率の比較

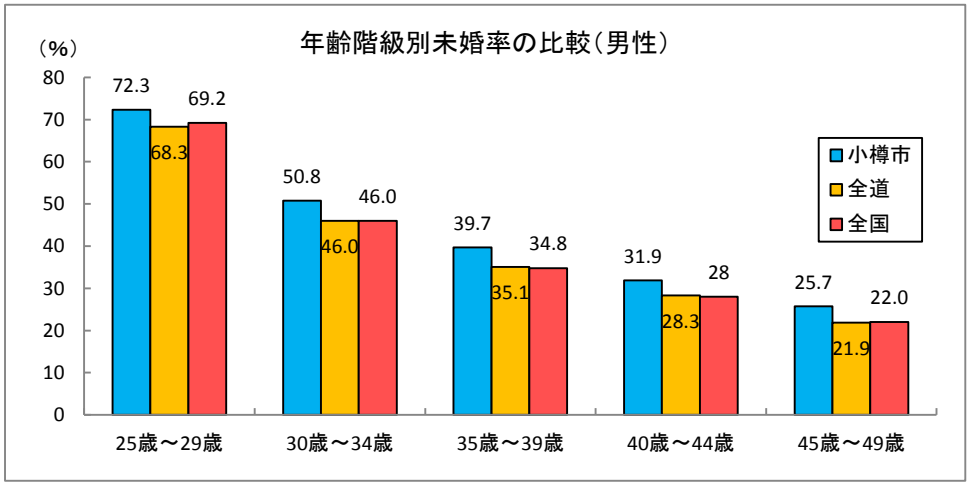
単位：%

		小樽市	全道	全国
25 歳～29 歳	女性	62.8	58.8	58.9
	男性	72.3	68.3	69.2
30 歳～34 歳	女性	38.4	35.5	33.9
	男性	50.8	46.0	46.0
35 歳～39 歳	女性	29.1	25.6	22.7
	男性	39.7	35.1	34.8
40 歳～44 歳	女性	25.0	20.2	17.1
	男性	31.9	28.3	28.0
45 歳～49 歳	女性	20.0	15.5	12.4
	男性	25.7	21.9	22.0

資料：平成 22 年国勢調査 （総務省統計局）

・小樽市における男女の未婚率は、どの年齢層においても全道、全国よりも高い。





資料：平成 22 年国勢調査 （総務省統計局）

11. 全道 35 市における未婚者割合の順位

【女性　25 歳～29 歳】

順位	市	%
1	三笠市	66.9
2	札幌市	65.9
3	北広島市	65.5
4	江別市	63.8
5	**小樽市**	**62.8**
⋮	⋮	⋮
33	留萌市	45.9
34	根室市	44.0
35	名寄市	43.9
市部数値		60.3
全道数値		58.8

【男性　25 歳～29 歳】

順位	市	%
1	夕張市	78.9
2	北広島市	74.6
⋮	⋮	⋮
5	三笠市	72.9
6	**小樽市**	**72.3**
⋮	⋮	⋮
33	苫小牧市	60.9
34	滝川市	60.8
35	赤平市	59.0
市部数値		68.8
全道数値		68.3

【女性　30 歳～34 歳】

順位	市	%
1	札幌市	41.8
2	函館市	38.5
3	**小樽市**	**38.4**
4	美唄市	38.0
5	赤平市	37.5
⋮	⋮	⋮
33	稚内市	25.3
34	紋別市	24.2
34	根室市	24.2
市部数値		36.9
全道数値		35.5

【男性　30 歳～34 歳】

順位	市	%
1	夕張市	62.7
2	歌志内市	57.6
3	美唄市	54.0
4	三笠市	52.1
5	**小樽市**	**50.8**
⋮	⋮	⋮
33	士別市	38.6
33	富良野市	38.6
35	滝川市	38.3
市部数値		46.3
全道数値		46.0

【女性　35 歳～39 歳】

順位	市	%
1	札幌市	30.0
2	夕張市	29.9
3	**小樽市**	**29.1**
4	函館市	28.6
5	砂川市	28.2
⋮	⋮	⋮
33	恵庭市	17.6
34	千歳市	17.5
35	歌志内市	16.8
市部数値		26.7
全道数値		25.6

【男性　35 歳～39 歳】

順位	市	%
1	夕張市	48.2
2	赤平市	45.2
⋮	⋮	⋮
5	歌志内市	40.4
6	**小樽市**	**39.7**
⋮	⋮	⋮
33	士別市	29.1
34	北斗市	29.0
35	富良野市	28.8
市部数値		35.4
全道数値		35.1

資料：平成 22 年国勢調査（総務省統計局）

・男女の未婚率は、各年齢層において、全道 35 市中 6 位以内と道内他市に比べ高い。

12. 合計特殊出生率の推移

単位:人

	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
小樽市	1.04	1.05	1.07	1.08	1.17	1.11	1.08	1.12	1.14
全 道	1.18	1.19	1.20	1.19	1.26	1.25	1.26	1.28	1.27
全 国	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42

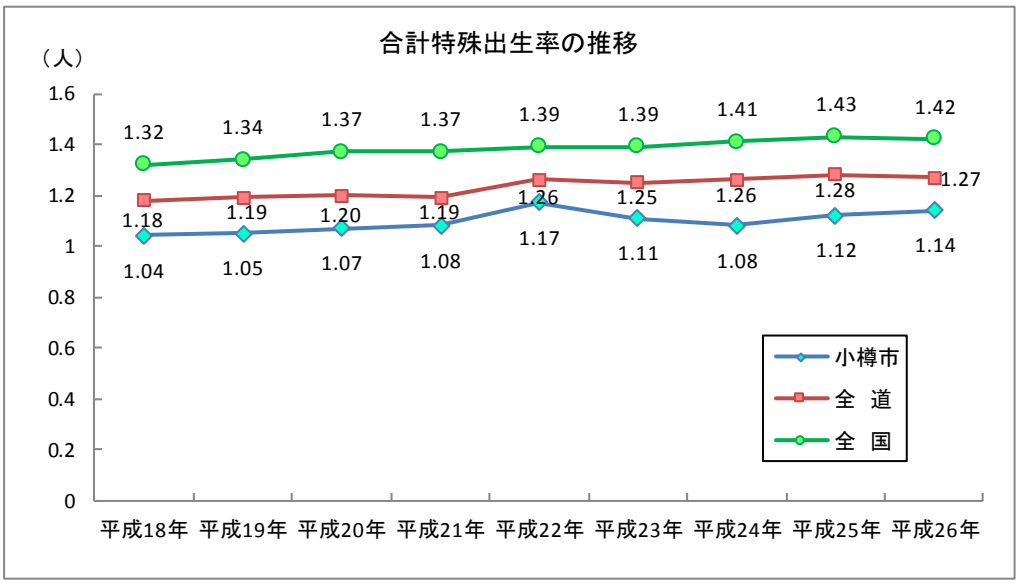
資料:「小樽市の保健行政 平成 27 年度版」

注) 合計特殊出生率:ある女子(母)の年齢別出生率の合計で、1人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に産む平均の子どもの数で、次の計算式により求められる。

$$\text{年齢(年齢階級)別出生率} = \frac{\text{ある年齢の母が産んだ子の数}}{\text{ある年齢の女子人口}}$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出}}{\text{年齢別女子人}} \right\} \text{の 15 歳～49 歳までの合計}$$

・小樽市の合計特殊出生率は、平成 23 年から減少傾向にあったが、平成 25 年からは微増している。



資料:「小樽市の保健行政 平成 27 年度版」

Ⅱ. 教　育

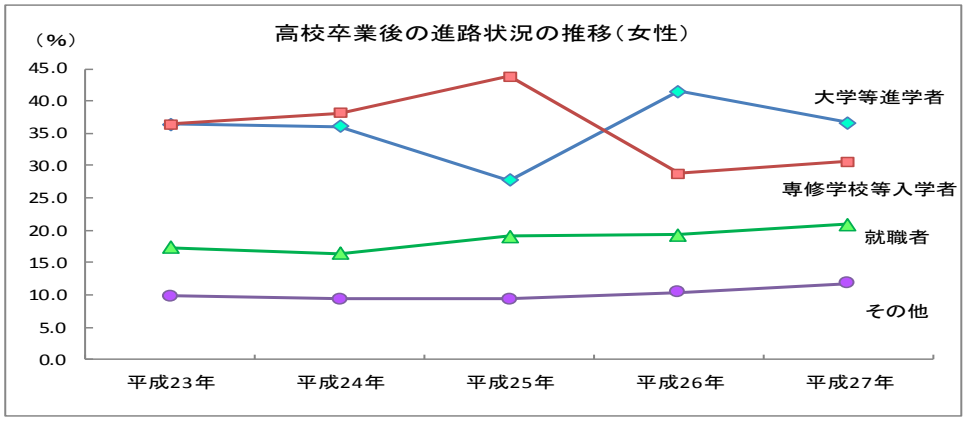
1. 高校卒業後の進路状況の推移

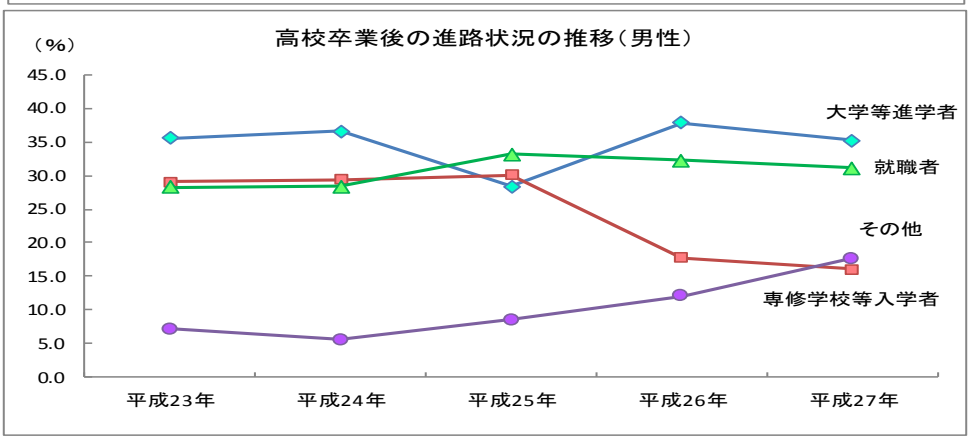
単位:上段(人)下段(%)

年次	卒業者総数(人)	女性					男性				
		卒業者数	大学等進学者	専修学校等入学者	就職者	その他	卒業者数	大学等進学者	専修学校等入学者	就職者	その他
平成23年	1,260	599	218	218	104	59	661	235	192	187	47
		47.5	36.4	36.4	17.4	9.8	52.5	35.6	29.0	28.3	7.1
平成24年	1,221	574	207	219	94	54	647	237	190	184	36
		47.0	36.1	38.2	16.4	9.4	53.0	36.6	29.4	28.4	5.6
平成25年	1,201	562	156	246	107	53	639	181	192	212	54
		46.8	27.8	43.8	19.0	9.4	53.2	28.3	30.0	33.2	8.5
平成26年	1,165	574	238	165	111	60	591	224	105	191	71
		49.3	41.5	28.7	19.3	10.5	50.7	37.9	17.8	32.3	12.0
平成27年	1,114	464	170	142	97	55	650	229	104	202	115
		41.7	36.6	30.6	20.9	11.9	58.3	35.2	16.0	31.1	17.7

資料:「小樽市統計書」 平成 27 年版

注）・「大学等進学者」とは、大学、短期大学、大学・短期大学の通信教育部、高等学校専攻科、特別支援学校高等部(専攻科)に進学した者をいう。(進学しかつ就職した者を含む)
・「専修学校等入学者」とは、専修学校、公共職業訓練施設等に入学したものをいう。(入学しかつ就職した者を含む)





資料:「小樽市統計書」 平成 27 年版

Ⅲ. 社会参画

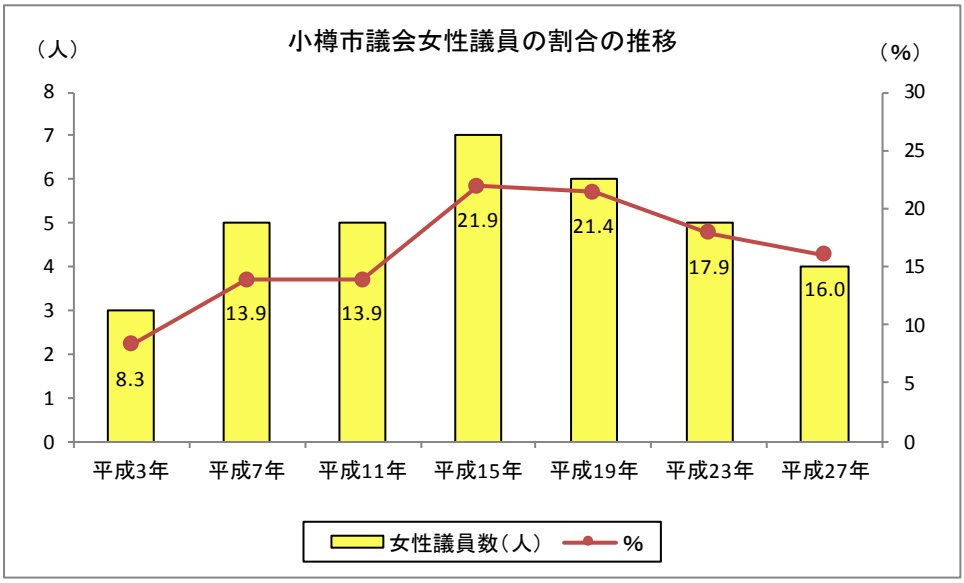
1. 政治や行政分野への参画状況

(1)小樽市議会女性議員の割合の推移

	平成 3 年	平成 7 年	平成 11 年	平成 15 年	平成 19 年	平成 23 年	平成 27 年
議員定数(人)	36	36	36	32	28	28	25
女性議員数(人)	3	5	5	7	6	5	4
%	8.3	13.9	13.9	21.9	21.4	17.9	16.0

資料:小樽市議会事務局(改選期の 5 月 1 日現在)

・平成 27 年 4 月の市議会議員選挙では改選前より女性議員数が一人減となった。



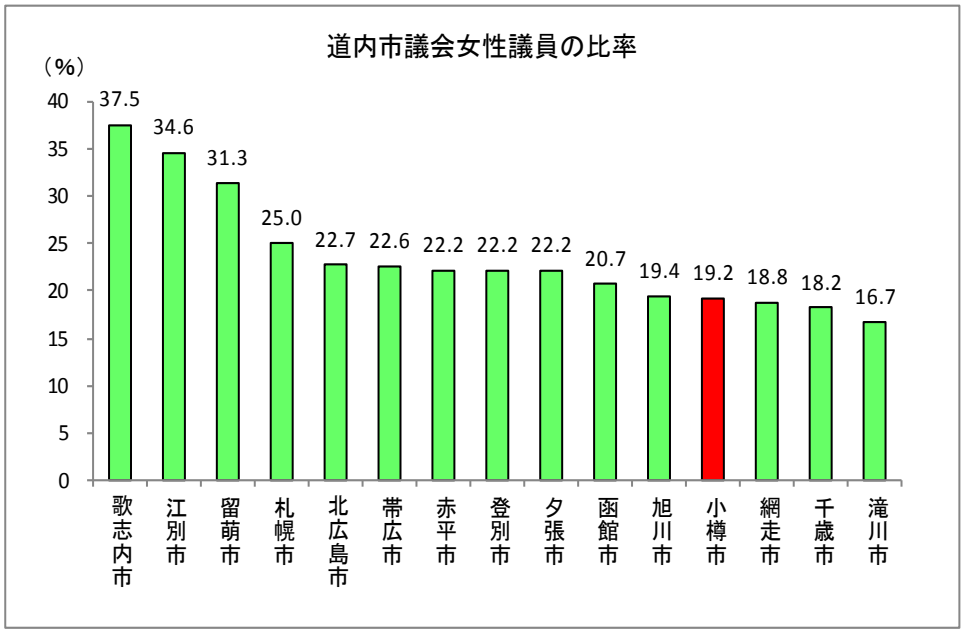
資料:小樽市議会事務局(改選期の 5 月 1 日現在)

（2）道内市議会女性議員の比率状況

順位	市	女性議員数（人）	議員総数（人）	%
1	歌志内市	3	8	37.5
2	江別市	9	26	34.6
3	留萌市	5	16	31.3
4	札幌市	17	68	25.0
5	北広島市	5	22	22.7
6	帯広市	7	31	22.6
7	赤平市	2	9	22.2
7	登別市	4	18	22.2
7	夕張市	2	9	22.2
10	函館市	6	29	20.7
11	旭川市	7	36	19.4
12	小樽市	5	26	19.2
13	網走市	3	16	18.8
14	千歳市	4	22	18.2
15	滝川市	3	18	16.7

資料：「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」（北海道　平成 27 年 3 月 31 日現在）

・小樽市議会の女性議員比率は 19.2%で、全道 35 市のうち 12 番目となっている。



資料：「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」（北海道　平成 27 年 3 月 31 日現在）

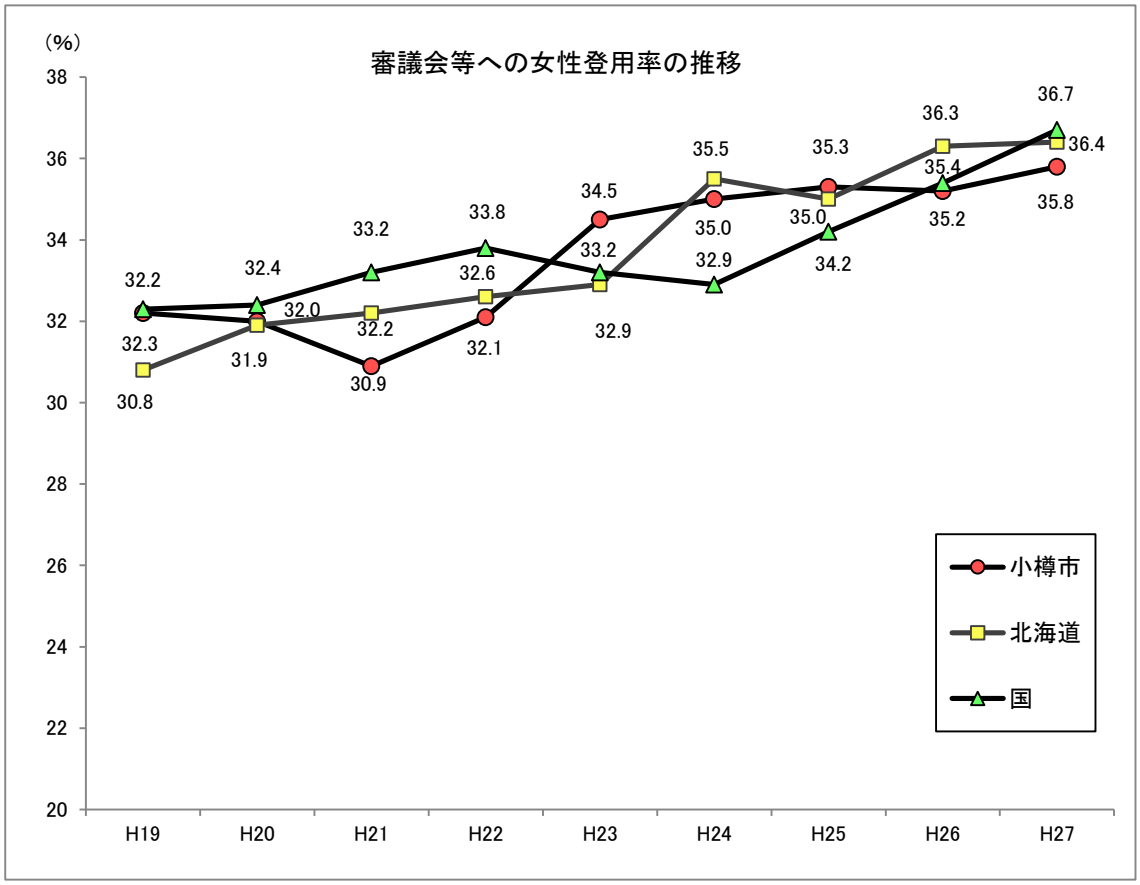
（3）審議会等への女性登用率の推移

単位：%

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
小樽市	32.2	32.0	30.9	32.1	34.5	35.0	35.3	35.2	35.8
北海道	30.8	31.9	32.2	32.6	32.9	35.5	35.0	36.3	36.4
国	32.3	32.4	33.2	33.8	33.2	32.9	34.2	35.4	36.7

資料：小樽市生活環境部「小樽市の審議会・委員会等への女性登用状況」
「道・市町村及び国の審議会等における女性委員の参画状況の推移」（北海道）
（各年４月１日現在）

・小樽市の女性登用率は平成 22 年以降、微増傾向にある。



資料：小樽市生活環境部「小樽市の審議会・委員会等への女性登用状況」
「道・市町村及び国の審議会等における女性委員の参画状況の推移」（北海道）
（各年４月１日現在）

（4）小樽市職員の女性の就業状況

【小樽市職員の就業状況】

	うち女性数／職員総数（人）	うち女性数／管理職総数（人）	
			うち一般行政職 うち女性数／管理職総数（人）
平成 25 年	597／1,732	40／234	4／141
	34.5%	17.1%	2.8%
平成 26 年	599／1,743	38／236	5/145
	34.4%	16.1%	3.4%
平成 27 年	607／1,734	37／226	5／136
	35.0%	16.4	3.7%

資料：「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」（北海道　平成 27 年 4 月 1 日現在）

・管理職総数に占める女性割合は減少したが、一般行政職の管理職総数に占める女性割合は、平成 22 年以降は増加の傾向にある。

【道内都市の一般行政職における女性管理職の割合（上位12市）】

	単位：%
室蘭市	15.2
函館市	12.5
苫小牧市	10.5
釧路市	9.2
旭川市	8.2
札幌市	7.1
帯広市	6.9
江別市	6.0
岩見沢市	5.9
小樽市	3.7
北見市	3.5
千歳市	2.9

資料：「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」（北海道　平成 27 年 4 月 1 日現在）

・小樽市の一般行政職の管理職に占める女性の割合は、道内都市の中では低位にある。

【保育士・看護師・医師の登用状況】（参考）

		総数（人）	女性（人）	比率（%）	男性（人）	比率（%）
保育士	平成 25 年	63	60	95.2	3	4.8
	平成 26 年	63	59	93.7	4	6.3
	平成 27 年	64	60	93.7	4	6.3
看護師	平成 25 年	341	305	89.4	36	10.6
	平成 26 年	338	303	89.6	35	10.4
	平成 27 年	333	299	89.8	34	10.2
医師	平成 25 年	43	5	11.6	38	88.4
	平成 26 年	49	4	8.2	45	91.8
	平成 27 年	52	5	9.6	47	90.4

資料：小樽市総務部（各年 4 月 1 日現在）

注）　医師に歯科医師は含まない。

(5)公立小・中・高校教員の女性の就業状況

区分	年次	うち女性／全教員		うち女性／校長		うち女性／教頭	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
小学校	平成 25 年	235／395	59.5	2／24	8.3	5／25	20.0
	平成 26 年	234／396	59.1	1／24	4.2	5／24	20.8
	平成 27 年	226／382	59.2	3／24	12.5	4／24	16.7
中学校	平成 25 年	88／247	35.6	0／14	0.0	1／14	7.1
	平成 26 年	86／245	35.1	0／14	0.0	1／14	7.1
	平成 27 年	90／250	36.0	0／14	0.0	2／14	14.3
高等学校	平成 25 年	35／258	13.6	0／5	0.0	0／8	0.0
	平成 26 年	36／245	14.7	0／5	0.0	0／7	0.0
	平成 27 年	38／233	16.3	0／5	0.0	0／7	0.0

区分	年次	うち女性／全教員		うち女性／校長		うち女性／教頭	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
北海道高等ろう学校	平成 25 年	21／53	39.6	0／1	0.0	0／1	0.0
	平成 26 年	19／53	35.8	0／1	0.0	0／1	0.0
	平成 27 年	20／56	35.7	0／1	0.0	0／1	0.0
小樽高等支援学校	平成 25 年	31／68	45.6	0／1	0.0	0／1	0.0
	平成 26 年	38／74	51.4	0／1	0.0	0／1	0.0
	平成 27 年	41／79	51.9	0／1	0.0	0／1	0.0

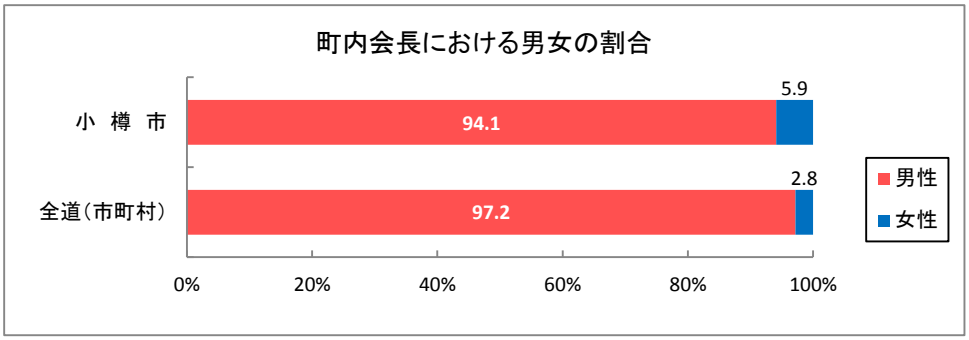
資料:小樽市教育委員会
平成 27 年度「北海道学校一覧」北海道教育委員会
「後志の教育」北海道教育庁後志教育局
(各年 5 月 1 日現在)

2. 地域・社会活動における参画状況

（1）町内会・PTAにおける男女の割合

【町内会長】

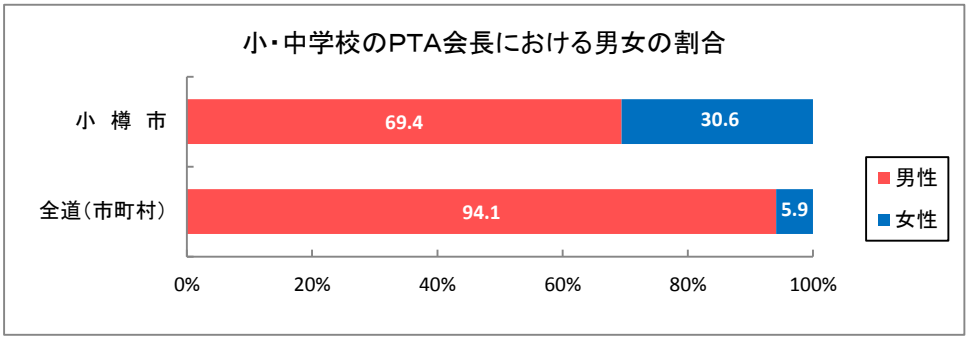
	総数（人）	女性（人）	比率（%）	男性（人）	比率（%）
小　樽　市	152	9	5.9	143	94.1
全道（市町村）	15,290	431	2.8	14,859	97.2



資料：「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」
（※　札幌市　自治会長に関する調査未実施のため不明）
（北海道　平成 27 年 3 月 31 日現在）

【PTA会長（小・中学校）】

	総数（人）	女性（人）	比率（%）	男性（人）	比率（%）
小　樽　市	36	11	30.6	25	69.4
全道（市町村）	1,732	103	5.9	1,629	94.1



資料：「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」
（※　札幌市　PTA に関する男女数、統計なしのため不明）
（北海道　平成 27 年 3 月 31 日現在）

Ⅳ. 健康・安全・福祉

1. 死亡原因

平成26年統計資料

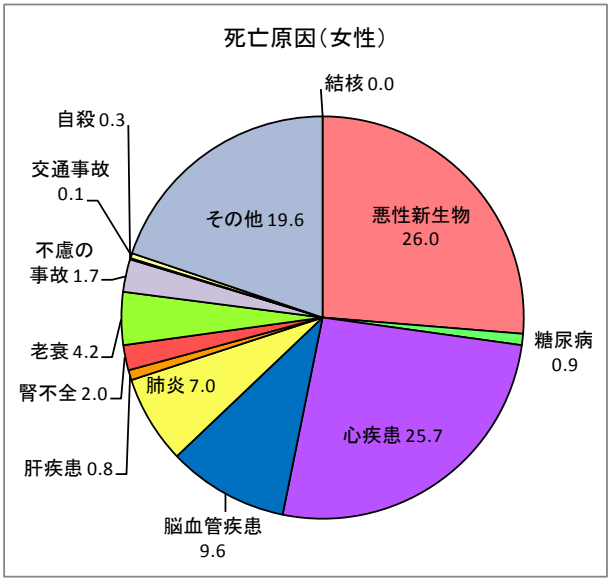
人数（%） ＼ 原因			結核	悪性新生物	糖尿病	心疾患	脳血管疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	交通事故	自殺	その他
総数	人数	1,844	2	574	16	394	162	142	21	37	45	41	1	21	388
	%	100.0	0.1	31.1	0.9	21.4	8.8	7.7	1.1	2.0	2.4	2.2	0.1	1.1	21.0
女性	人数	929	0	242	8	239	89	65	7	19	39	16	1	3	201
	%	100.0	0.0	26.0	0.9	25.7	9.6	7.0	0.8	2.0	4.2	1.7	0.1	0.3	21.6
男性	人数	915	2	332	8	155	73	77	14	18	6	25	0	18	187
	%	100.0	0.2	36.3	0.9	16.9	8.0	8.4	1.5	2.0	0.7	2.7	0.0	2.0	20.4

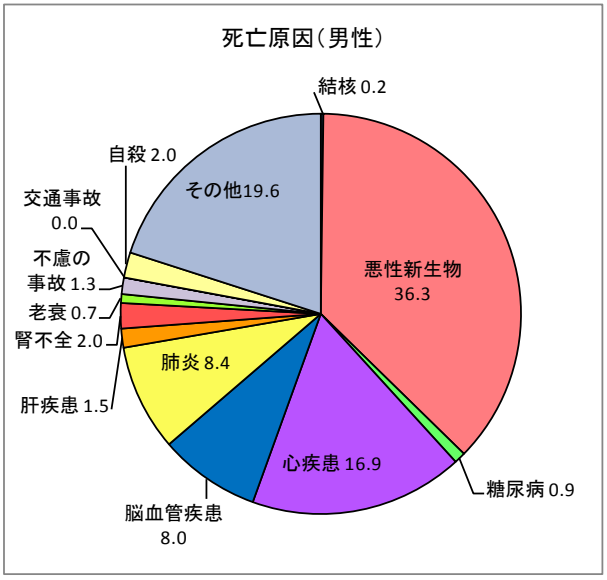
資料:「小樽市の保健行政 平成 27 年度版」

・女性、男性ともに、悪性新生物による死亡原因が最も高い。

【平成26年】

単位:%





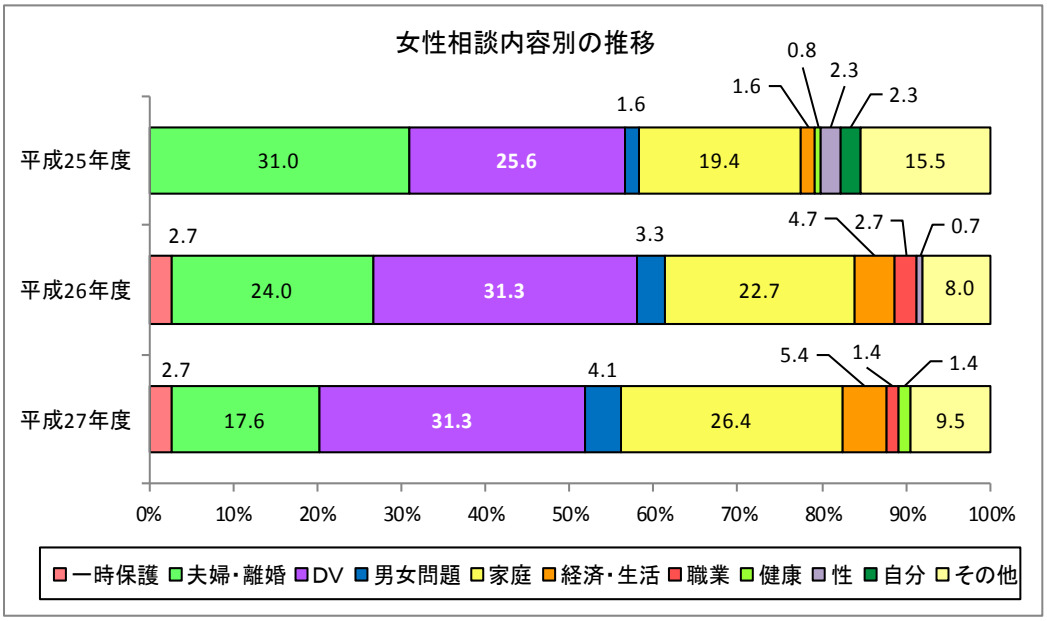
資料:「小樽市の保健行政 平成 27 年度版」

2. 女性相談の内容別内訳の推移

年　度		合計	一時保護	夫婦・離婚	DV	男女問題	家庭	経済・生活	職業	健康	性	自分	その他
平成25年度	件数	129	0	40	33	2	25	2	0	1	3	3	20
	%	100.0	0.0	31.0	25.6	1.6	19.4	1.6	0.0	0.8	2.3	2.3	15.5
平成26年度	件数	150	4	36	47	5	34	7	4	0	1	0	12
	%	100.0	2.7	24.0	31.3	3.3	22.7	4.7	2.7	0.0	0.7	0.0	8.0
平成27年度	件数	148	4	26	47	6	39	8	2	2	0	0	14
	%	100.0	2.7	17.6	31.8	4.1	26.4	5.4	1.4	1.4	0.0	0.0	9.5

資料：小樽市生活環境部

・平成 25 年度は、夫婦・離婚に関する相談が最も多い。平成 26、27 年度は、DVに関する相談が最も多く、家庭に関する相談も増えている。



資料：小樽市生活環境部

Ⅴ. 就業状況

1. 労働力状態の推移

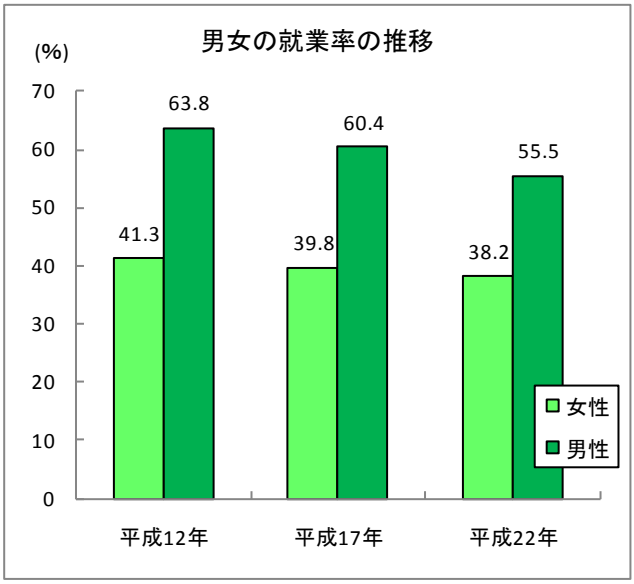
単位：人（%）

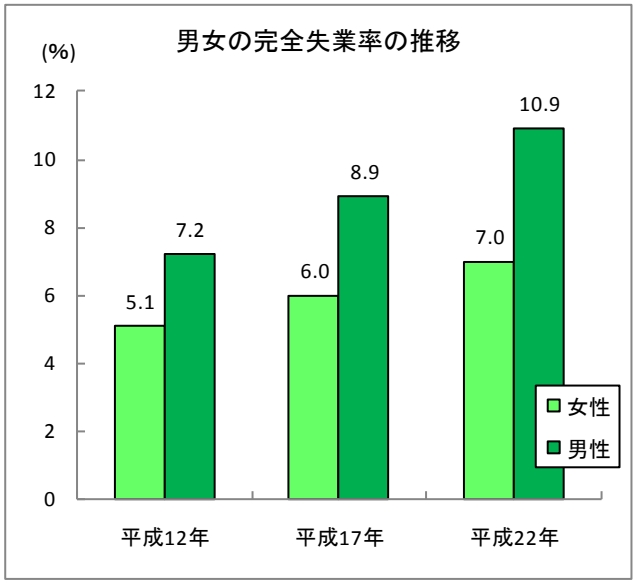
		15 歳以上人口の総数	労働力人口						非労働力人口	
			人数	労働力率	就業者		完全失業者			
					人数	就業率	人数	失業率		
総数	平成 12 年	133,288	73,168	55.0	68,553	51.4	4,615	6.3	59,930	45.0
	平成 17 年	127,072	67,415	53.4	62,284	49.0	5,131	7.6	58,813	46.3
	平成 22 年	118,822	60,016	51.0	54,510	45.9	5,506	9.2	57,617	48.5
女性	平成 12 年	73,415	31,983	43.6	30,338	41.3	1,645	5.1	41,366	56.3
	平成 17 年	70,254	29,791	42.6	27,993	39.8	1,798	6.0	40,141	57.1
	平成 22 年	65,920	27,056	41.4	25,158	38.2	1,898	7.0	38,302	58.1
男性	平成 12 年	59,873	41,185	68.9	38,215	63.8	2,970	7.2	18,564	31.0
	平成 17 年	56,818	37,624	66.8	34,291	60.4	3,333	8.9	18,672	32.9
	平成 22 年	52,902	32,960	63.1	29,352	55.5	3,608	10.9	19,315	36.5

資料：平成 12 年、17 年、22 年国勢調査（総務省統計局）

注） 15 歳以上人口の総数に労働力状態「不詳」を含む。

・男女ともに就業者数は減少、完全失業者数は増加の傾向にある。





資料：平成 12 年、17 年、22 年国勢調査（総務省統計局）

注） 労働力率 ： 労働力人口（就業者＋完全失業者）／15 歳以上人口の総数（「不詳」を除く）
完全失業率 ： 労働力人口に占める完全失業者の割合
就業率 ： 15 歳以上人口に占める就業者の割合

2. 男女の年齢階級別労働力率の推移

【女　性】

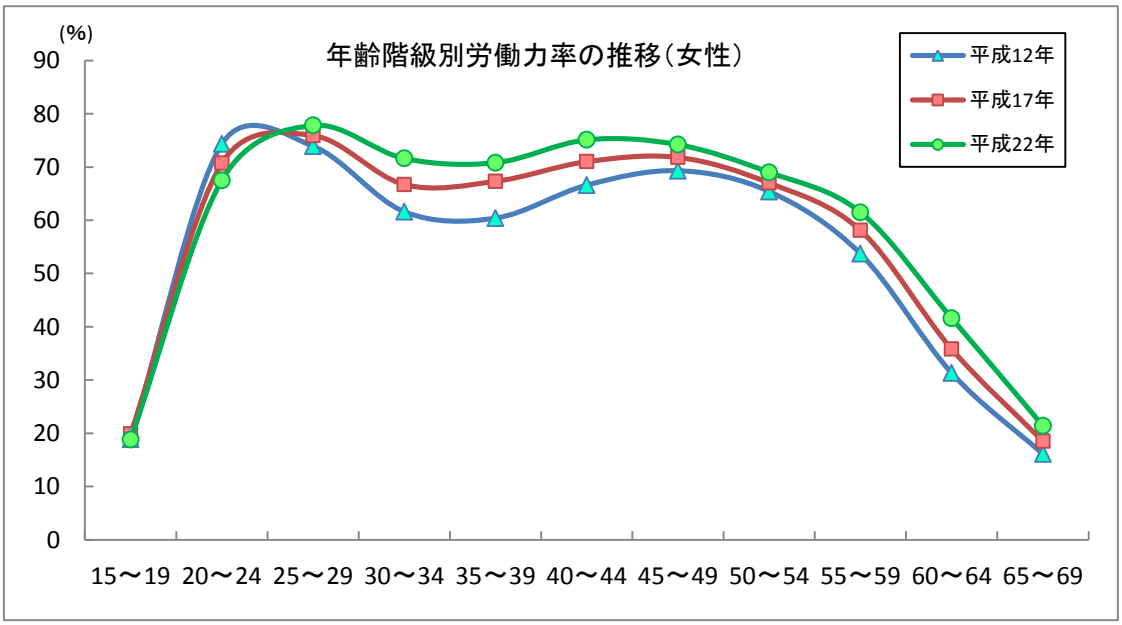
単位：%

年　齢 （5 歳階級）	平成 12 年			平成 17 年			平成 22 年		
	総数（人）	労働力人口	労働力率	総数（人）	労働力人口	労働力率	総数（人）	労働力人口	労働力率
15 歳～19 歳	4,236	799	18.9	3,273	645	19.9	2,815	527	18.8
20 歳～24 歳	4,806	3,562	74.3	3,733	2,604	70.7	2,826	1,880	67.5
25 歳～29 歳	4,868	3,593	73.9	3,743	2,812	75.9	2,691	2,063	77.8
30 歳～34 歳	4,289	2,641	61.6	4,314	2,859	66.7	3,298	2,305	71.6
35 歳～39 歳	4,206	2,539	60.4	4,099	2,744	67.3	4,122	2,874	70.8
40 歳～44 歳	4,218	2,810	66.6	4,079	2,883	71.0	4,017	2,969	75.1
45 歳～49 歳	5,916	4,101	69.3	4,127	2,947	71.8	4,015	2,946	74.2
50 歳～54 歳	7,439	4,865	65.4	5,836	3,897	67.0	4,069	2,778	69.0
55 歳～59 歳	6,269	3,363	53.7	7,314	4,229	58.1	5,731	3,497	61.5
60 歳～64 歳	6,003	1,876	31.3	6,158	2,201	35.8	7,136	2,955	41.6
65 歳～69 歳	6,104	981	16.1	5,799	1,071	18.5	5,923	1,262	21.4

資料：平成 12 年、17 年、22 年国勢調査（総務省統計局）

注）労働力率 ： 労働力人口／総数（「不詳」を除く）

・女性の年齢階級別労働力率は、30～39 歳で年々増加の傾向にあり、M字カーブの底が上昇している。また、15～24 歳では減少、その他の階級では上昇の傾向にある。



資料：平成 12 年、17 年、22 年国勢調査（総務省統計局）

【男　性】

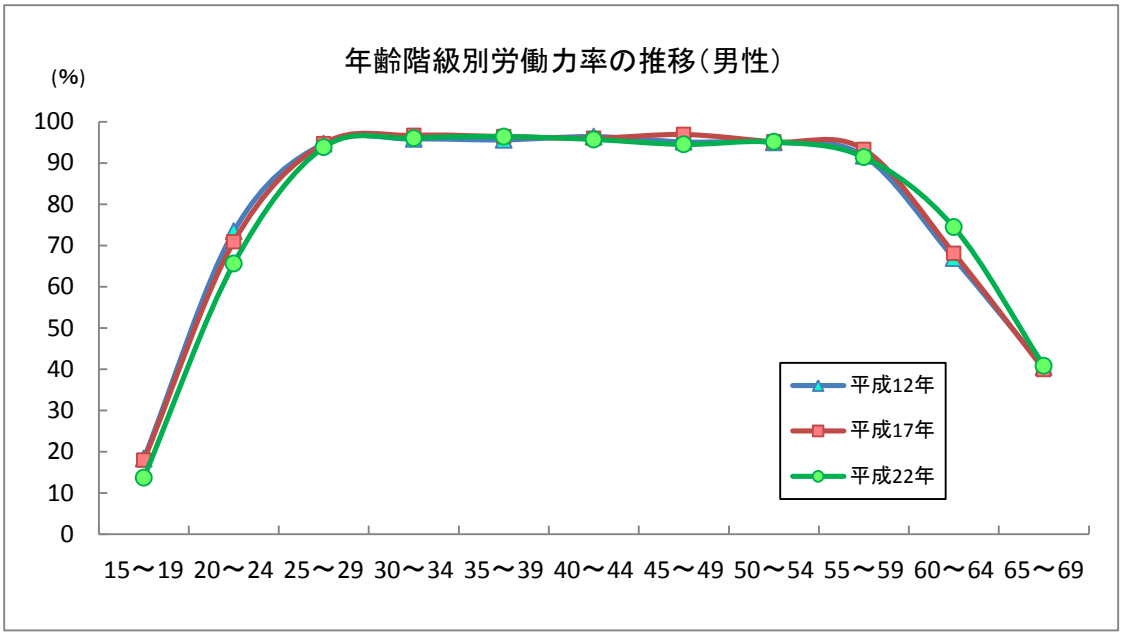
単位：%

年　齢 （5 歳階級）	平成 12 年			平成 17 年			平成 22 年		
	総数（人）	労働力人口	労働力率	総数（人）	労働力人口	労働力率	総数（人）	労働力人口	労働力率
15 歳～19 歳	4,345	795	18.3	3,445	613	17.9	2,991	408	13.7
20 歳～24 歳	4,451	3,257	73.4	3,583	2,501	70.9	2,761	1,785	65.6
25 歳～29 歳	4,395	4,150	94.7	3,432	3,185	94.7	2,568	2,341	93.8
30 歳～34 歳	3,819	3,655	95.8	4,034	3,821	96.7	3,123	2,917	96.0
35 歳～39 歳	3,608	3,442	95.6	3,605	3,435	96.4	3,837	3,615	96.4
40 歳～44 歳	3,760	3,617	96.4	3,541	3,359	96.0	3,500	3,258	95.7
45 歳～49 歳	4,966	4,710	95.1	3,652	3,498	96.9	3,441	3,206	94.5
50 歳～54 歳	6,337	6,010	95.0	4,874	4,594	95.1	3,589	3,367	95.1
55 歳～59 歳	5,215	4,777	91.7	6,145	5,684	93.3	4,728	4,272	91.4
60 歳～64 歳	4,889	3,265	66.9	5,101	3,456	68.1	5,957	4,406	74.4
65 歳～69 歳	5,018	2,026	40.5	4,551	1,808	39.9	4,771	1,939	40.8

資料：平成 12 年、17 年、22 年国勢調査（総務省統計局）

注）労働力率　：　労働力人口／総数（「不詳」を除く）

・男性の年齢階級別労働力率は、15～24 歳で年々減少、60～64 歳で増加の傾向にある。



資料：平成 12 年、17 年、22 年国勢調査（総務省統計局）

3. 男女の雇用者の雇用形態別構成

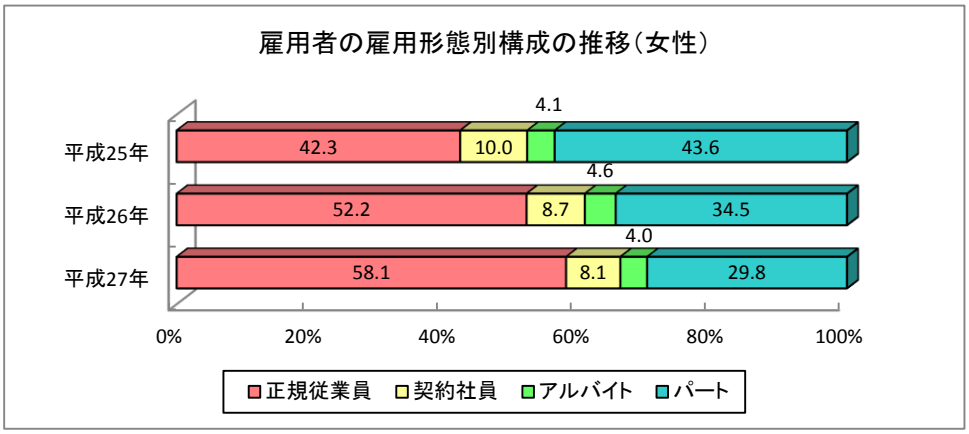
単位：人（%）

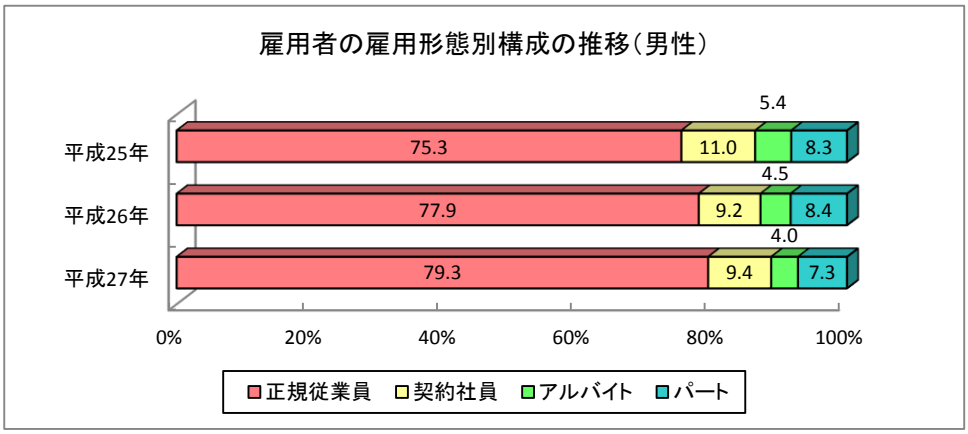
		全従業員	正規従業員		契約社員		アルバイト		パート	
女性	平成 25 年	7,241	3,064	42.3	727	10.0	294	4.1	3,156	43.6
	平成 26 年	6,608	3,452	52.2	573	8.7	305	4.6	2,278	34.5
	平成 27 年	5,517	3,203	58.1	449	8.1	223	4.0	1,642	29.8
男性	平成 25 年	6,695	5,041	75.3	734	11.0	362	5.4	558	8.3
	平成 26 年	6,421	5,006	77.9	590	9.2	288	4.5	537	8.4
	平成 27 年	6,170	4,896	79.3	582	9.4	245	4.0	453	7.3

資料：「小樽市労働実態調査」（各年 9 月 30 日現在）

注）「小樽市労働実態調査」…当市に所在する従業員 5 人以上の規模の事業所から、600 事業所を任意に抽出して行う調査

・女性はパートの割合が減少し、正規従業員の割合が増加している。平成 26 年に正規従業員の占める割合が 5 割を超えた。
・男性は、どの年も正規従業員の占める割合が最も高い。





資料：「小樽市労働実態調査」（各年 9 月 30 日現在）

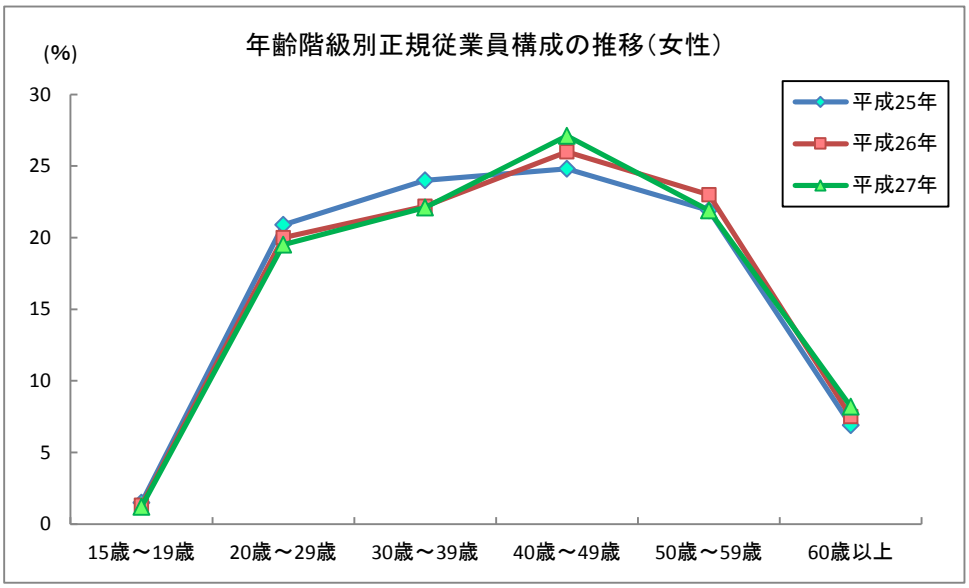
4. 男女別・年齢階級別正規従業員構成

【女　性】

年　齢 （5 歳階級）	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年	
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
15 歳～19 歳	47	1.5	45	1.3	39	1.2
20 歳～29 歳	639	20.9	691	20.0	625	19.5
30 歳～39 歳	735	24.0	766	22.2	707	22.2
40 歳～49 歳	759	24.8	896	26.0	868	27.1
50 歳～59 歳	672	21.9	794	23.0	701	21.9
60 歳以上	212	6.9	260	7.5	263	8.2
合計	3,064	100.0	3,452	100.0	3,203	100.0

資料:「小樽市労働実態調査」(各年 9 月 30 日現在)

・正規従業員の年齢階層別構成は、平成 25 年、26 年、27 年と 40 歳代が最も高い。
また、30 歳代は減少の傾向、40 歳代は増加の傾向にある。



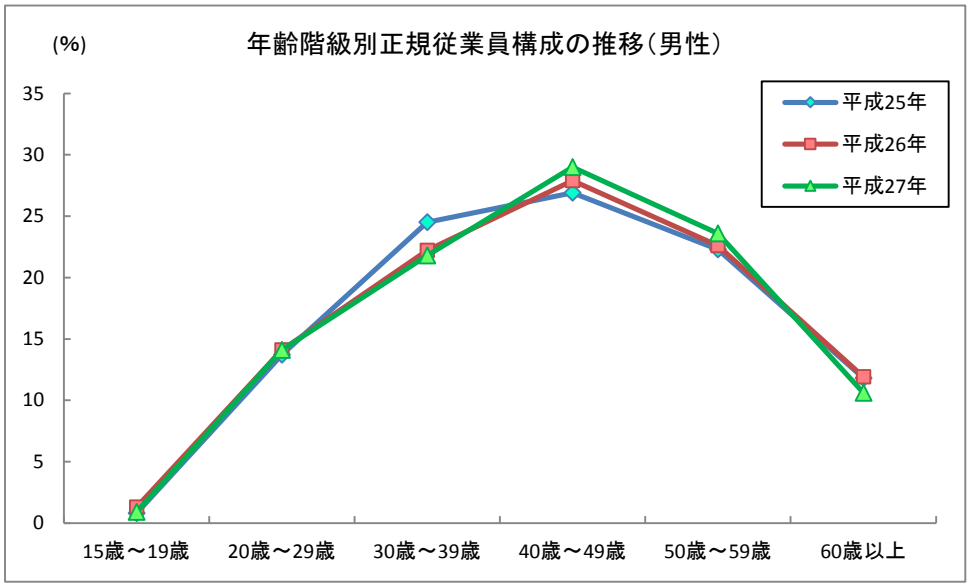
資料:「小樽市労働実態調査」(各年 9 月 30 日現在)

【男　性】

年　齢 （5 歳階級）	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年	
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
15 歳～19 歳	42	0.8	63	1.3	43	0.9
20 歳～29 歳	689	13.7	708	14.1	689	14.1
30 歳～39 歳	1,236	24.5	1,114	22.2	1,068	21.8
40 歳～49 歳	1,353	26.9	1,396	27.9	1,417	29.0
50 歳～59 歳	1,126	22.3	1,130	22.6	1,153	23.6
60 歳以上	595	11.8	595	11.9	520	10.6
合計	5,041	100.0	5,006	100.0	4,890	100.0

資料:「小樽市労働実態調査」(各年 9 月 30 日現在)

・正規従業員の年齢階層別構成は、平成 25 年、26 年、27 年と 40 歳代が最も高い。
また、30 歳代は減少の傾向、40 歳代は増加の傾向にある。



資料:「小樽市労働実態調査」(各年 9 月 30 日現在)

小樽の女性と男性
平成 27 年度版

平成 28 年 7 月発行
編集　小樽市　生活環境部　男女共同参画課
〒047-0024　小樽市花園 2 丁目 10 番 18 号
勤労女性センター内
TEL　0134-22-5904
FAX　0134-22-6081
E-mail:kyodo-sankaku@city.otaru.lg.jp
http://www.city.otaru.lg.jp/